

押後

押手紙ありがたく押見跡——ました。

押高鳴りの趣ね——かに押諾いた——ます。 押禮

なとほいりません。 さういふことをなさると却て

押諾——にく——あります。

違句は隔月でもいし。 毎月たつてさう困りほし

ません。 すつて折言子・草子城両氏と。 さく安調の合ふやうに

先は押返事まで。 青嶺先生にどうぞよろしく。(押病氣

の申でしながいかいですか。) 十九日 秋子

島田 洋一 様

X

五月十九日

神田区 西神田一丁目

水原 豊

秋子